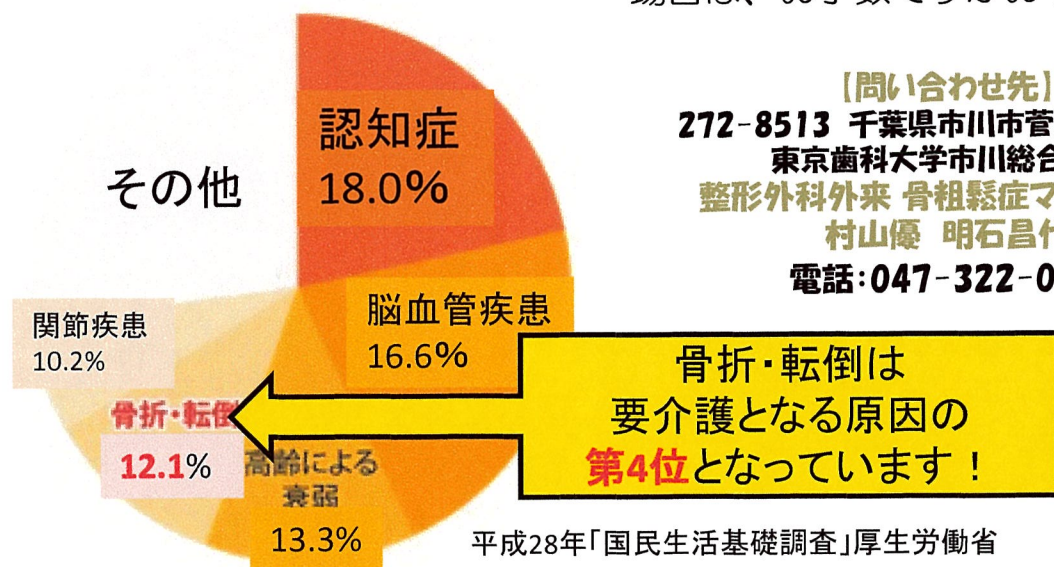


足の付け根(大腿骨頸部)の骨折をした方の 骨粗鬆症治療に関する研究をしています

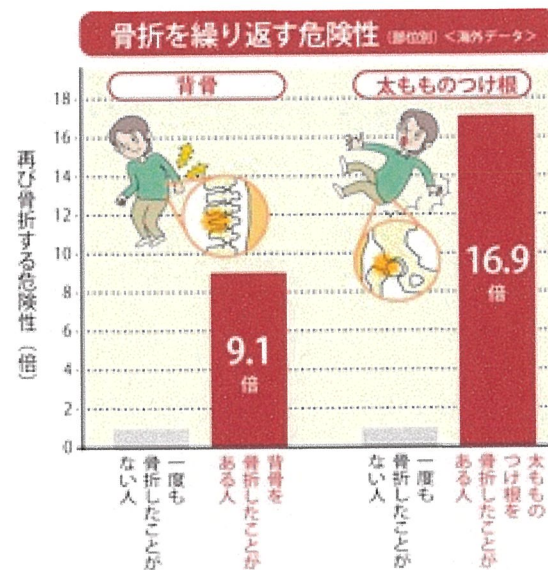
平成27年度と平成29年度に足の付け根の骨折(大腿骨頸部骨折)で入院手術をしたことがある方を対象に、治療経過を振り返っています
私たちがサポートすることで骨粗鬆症治療薬の導入や治療継続が充実し、健康寿命を延ばしていくことができるのではないかと考えています

カルテからは、疾患名・内服薬・骨塩定量測定の情報を使用させていただきますが、患者様を特定できないように匿名化し、個人情報漏洩しないように致します

尚、この研究は当院の倫理審査委員会で承認されています
対象となる患者様におきまして、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数ですがお申し出下さい



【問い合わせ先】
272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13
東京歯科大学市川総合病院
整形外科外来 骨粗鬆症マネージャー
村山優 明石昌代
電話:047-322-0151



「骨粗鬆症マネージャーの介入による大腿骨近位部骨折患者を対象とした骨粗鬆症治療導入率の検討」へのご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院整形外科では上記研究を行っております。この研究は、大腿骨近位部(足の付け根)の骨折をきたした患者様に、医師だけではなく骨粗鬆症マネージャーが関わることで骨粗鬆症治療導入率を上げ、再骨折の予防効果を高めると考えております。そのため、過去に大腿骨の骨折をされて当院で手術加療となった患者様の治療データを参照させていただきたいと考えております。

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しております。

対象者

平成27年度と平成29年度の当院で入院し手術加療となった大腿骨近位部骨折患者様

研究実施機関

東京歯科大学市川総合病院

研究背景・目的

2016年に日本人の4人に1人が65歳以上の高齢者となりました。高齢化に伴う要支援・要介護者も年々増加の一途をたどっており、その要因の上位が骨折・転倒となっています。

(厚生労働省、国民生活基礎調査、平成25年)

生命予後に関わる代表的な骨折の1つである大腿骨近位部の骨折は、日本国内で年間約15万人発生しているとも推定されています。本骨折は80歳以上の高齢者での発生率が高く、その数は現在増加傾向であると考えられています。

また受傷部位に関わらず、一度骨折をすると二度目の骨折を生じやすいことが報告されています。この骨折の連鎖を防ぐため、骨粗鬆症治療の導入と継続の向上が現在の医療課題であるといえます。

しかし大腿骨近位部の骨折手術後、骨粗鬆症治療開始となったのは全国平均同様、当院でも低値であり、再骨折も多いことが分かっています。

骨粗鬆症マネージャーが介入することで患者様の背景や、内服状況などの把握をしていくことができると考えています。こうした骨粗鬆症マネージャーの取り組みは、再骨折を減少させ、健康寿命の延長や要支援・要介護者数の抑制につながると考えています。

上記研究を行い、骨粗鬆症治療介入率の向上を検討していきます。

研究方法

上記対象者の骨粗鬆症治療介入率等の比較検討を行う。

カルテからは、疾患名・内服薬・骨塩定量測定の情報を使用させていただきますが、患者様を特定できないように匿名化し、個人情報漏洩しないように致します。

試料・情報の取り扱い

電子データは、個人が特定されないように匿名化して整形外科外来内のパスワードで制御されたコンピューターに保存する。これらの情報についてこの研究目的以外に使用されることはありません。また、研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間保存させていただいた後に適切に破棄致します。

費用

この研究により、新たな検査や費用が生じることはありません。また試料や情報を使用させていただいた患者様への謝礼等もございません。

結果の公表

研究の結果については、学会や雑誌等に発表されることはありますが、個人が特定できるような情報が公開されることなく、個人情報は尊厳されます。

研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独自性確保に支障がない範囲で、この研究計画の試料等を閲覧または入手することができます。

対象となる患者様におきまして、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数ですがお申し出下さい。

【問い合わせ先】

272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

整形外科外来 骨粗鬆症マネージャー 村山優 明石昌代

電話：047-322-0151